

ルビナソフトウェアジャパン株式会社、「AI によるアプリケーション開発プラットフォームのフレームワーク」に関するビジネスモデル特許を 2026 年 8 月 5 日に出願

～新たなフレームワークによる効率的かつ高品質なアプリケーション開発を実現～

ルビナソフトウェアジャパン株式会社 2026 年 8 月 12 日 10 時 00 分

ルビナソフトウェアジャパン株式会社（本社：神奈川県川崎市、代表取締役山崎宏文、以下「当社」）は、「AI によるアプリケーション開発プラットフォームのフレームワーク」において、独自の AI と人が協働する開発工程の高度化/効率化に関するビジネスモデル特許を「開発支援システム、開発支援方法及びコンピュータープログラム」として 2026 年 8 月 5 日に出願したことをお知らせいたします。本技術により、開発期間の短縮とコスト軽減、標準化による品質の向上によって開発工程の高度化/効率化を実現します。

1. 特許出願の背景

従来、全体最適や個別最適のアプリケーションを人手と長期間を掛けて構築し、その後も高い維持費やブラックボックス化による拡張の障壁といった問題がありました。当社では、標準化や再利用を推進した柔軟な開発で企業独自の競争力を実現させるべく、本技術の研究/開発を進めてまいりました。

2. 今回特許を出願した技術について

今回出願した技術は、Human-in-the-Loop(HITL)に関するものです。

- **特徴 1**：AI によるアプリケーション開発プラットフォームのフレームワークは、単に生成 AI でコードを書く仕組みではありません。業務要件から設計/実装/テスト/運用までを一貫して支援する技術基盤として構成しており、当社の「IT ソリューションコンサルティングサービス」を最大限に活用することでオールインワンにて提供します。
- **特徴 2**：アプリケーション構築の効率化だけでなく、エンドユーザー企業が必要とするアプリケーションを、早く/適正なコストで導入することで DX 参入障壁を下げ、事業環境の変化に合わせて企業の競争力を高めて成長できることにあります。

（特許出願中：特願 2026-184858(ビジネスモデル特許)）

3. 今後の展望

当社は今回の特許出願を契機に、AI と人の専門性を融合し、お客様(エンドユーザ)の業務

に最適化された高品質なアプリケーションを、迅速かつ継続的に提供することで、持続的な業務変革と事業成長を推進し、開発の迅速化／品質の安定と向上／業務に完全に適合したアプリケーションの構築／継続的かつビジネス変革の強化／人材不足と属人化に解消の実現に努めてまいります。

4. これまで当社の AI への取り組み

当社はこれまでの「アプリケーションへの AI アドオンサービス」を通じて各業務テーマに合わせて検証開発を進めてライブラリを強化して現在も進化を続けてサービスを提供しております。ルビナソフトウェアジャパンでは AI に対する新しい価値の創造への取り組み知見から A I トランスフォーメーションに展開しました。

会社概要

会社名：ルビナソフトウェアジャパン株式会社(川崎市高津区)

代表者：代表取締役社長 山崎宏文

事業内容：DX/IT/AX コンサルティング事業、アプリケーション開発事業、AI 開発事業

本件に関するお問い合わせ先

ルビナソフトウェアジャパン株式会社

担当： 営業事業本部マーケティング推進部広報担当

E-mail： contact_form@luvina.jp

URL： <https://luvina.jp/>